

# 子どもたちの笑顔が 次に進む力に

## 幼保一体型「釜石認定こども園」を

釜石市・大槌町管内の保育園では全壊4施設、半壊2施設が被害を受けました。釜石市の中心部にあった釜石保育園は大きな被害を受けましたが、園児80名と保育士20名は迅速に避難し、一人の犠牲者も出しませんでした。

同園はその後、いち早く内陸部(甲子町)にある幼稚園を借りて保育を再開(4月1日)。事務室となるログハウスは増築プロジェクトが支援し、給食室はボランティアが園舎の一部を改造して完成させました。震災からまもなく2年。一時は地方へ移転した家族もあって園児数は減

少しましたが、現在は大槌町や近隣から通う新規園児もおり、今年度のスタート時は震災前を上回りました。

藤原けいと園長は「子どもたちがいるからこそ、先に進む力が生まれます。子どもが元気でいると働く親ごさんも元気になります」と、園内行事は震災前と何ひとつ変えていません。「沈んだ保育園にしないこと、元気な保育園にすることが、私たちの役割であり責任なんです」と力強く話しています。震災と一緒に乗り越えた職員と心をひとつにし、親ごさんや地域の方々とのコミュニケーションも深まっている様子です。

園児たちも「ちびっこ虎舞」で浜つ

園の恒例行事「節分のまめまき」



元気を発信する「ちびっこ虎舞」

### 社会福祉法人愛泉会 釜石保育園

市内中心部の園舎は津波で浸水。2階事務室は無事でした。現在は中心部から西へ約8キロ先の旧釜石南幼稚園で保育を再開しています。

釜石保育園(本園)は園児76名、職員19名。平田町の平田保育園(分園)は定員30名。大町子育て支援センター(職員2名)も開設しています。

釜石保育園/釜石市甲子町10-630-1

☎0193-25-1180

平田分園/釜石市大字平田2-25-142

☎0193-36-1171

釜石市では3つの児童館(鵜住居、唐丹、箱崎)が流出しました。うち鵜住居児童館は昨年3月に鵜住居小学校の仮設校舎完成とタイミングを合わせて隣地に移転。唐丹児童館は昔使っていた施設を修理し、またTボイントカードの支援で建てられた「みんなの唐丹児童館」を学童クラブ

## 元気を発信するコンテナハウス

### 鵜住居児童館

が利用しています。箱崎児童館は様々な事情から廃園を余儀なくされました。

釜石市社協が運営する児童厚生施設「鵜住居児童館」は、子どもたちの遊び場、居場所の再開を願う住民と、さらに要望に応えたいという「財団法人児童健全育成推進財団」及び「マ

この元気を地域に発信しています。震災前から計画していた虎舞は一時中断しましたが、釜石虎舞連合会会長の指導で、市内のイベントに参加するほどの上達ぶりです。子どもながら「釜石っ子」気質に火がついたと評判も上々です。

### 仮称「釜石認定こども園」

同園では昨年5月、幼保一体型の移行計画に伴い、「釜石認定こども園・釜石保育園・釜石幼稚園」(仮称)

の開設を決め、現在申請中です。市の復興住宅計画(40戸)の中に位置づけられた復興再建園舎のイメージは、敷地面積が約2,700平方メートル、庭は900平方メートル。場所は天神町(旧第一中学校)仮設住宅の一帯です。

復興住宅とこども園が一緒になつた複合型ゾーンの完成は、順調にくと平成26年4月。被災地では初めての取り組みです。

### まちを明るくしなければ



藤原けいと園長

震災後は「どうしよう」からのスタートでした。多くのご支援のお蔭で通常通りの保育活動を進めました。口にこそ出しませんが、一緒に苦しみや悲しみを乗り越えた職員同士、そして子どもたちとも心がつながりっています。

復興期にある現在、市内中心部には保育園はありません。1日も早く戻り、まちを明るくしなければと思っています。

### 釜石の子どもたちのために



金子健一

常務理事・事務局長

震災前の保育実践を取り戻しつつあります。幼保一体化への移行予定に伴い、法人として「釜石認定こども園」の開設を申請中です。

これからも市内の保育園や幼稚園と手を携え、釜石の子どもたちのために一歩一歩先に進みたいと考えています。

